

- 運命を変える力は、あなた自身の中にある。誰かに決められた期限なんてない。 -

SK-IIが女性を応援するキャンペーン、始動。

新・動画『期限なんてない』2017年6月22日公開

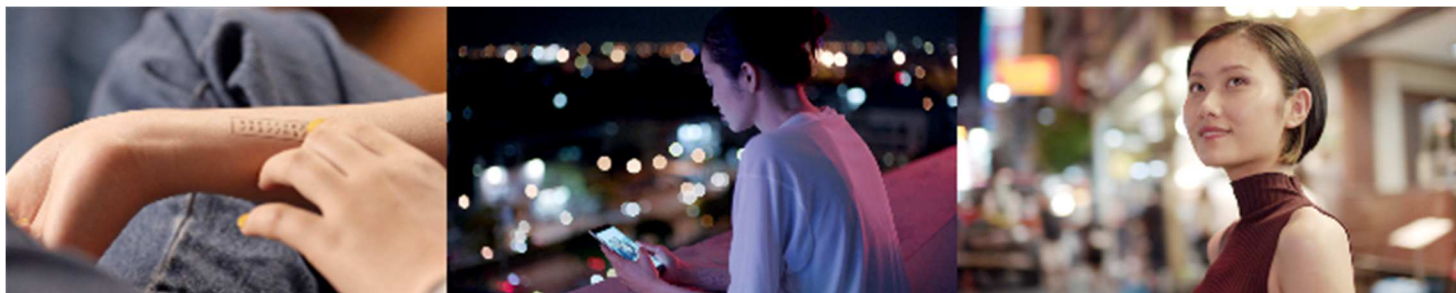
SK-IIは全ての女性が自分らしく生きるための応援キャンペーンを開始し、新たに動画を公開します。

SK-IIは、運命を、変えよう、というブランドテーマの下、6月22日より、「運命を変える力は、あなた自身の中にある。誰かに決められた期限なんてない。」というメッセージを贈るためのキャンペーン、『年齢って何だろう』を開始。新動画『期限なんてない』を公開します。（動画はこちらからご覧ください。<https://youtu.be/8YviHLyXjs4>）

■「30歳までに見通しがほしい」「期限があるようなプレッシャー」日本だけでなくアジア女性に通じる年齢への葛藤。

SK-IIが世界11カ国で行った調査*¹によると、約4割の女性が年齢を重ねることに不安があると回答。アジアでは特に顕著でそのように考える女性は、約8割にのぼりました。また、この年齢に関する不安について、30歳という年齢をひとつの期限のように捉える傾向があり、結婚もその一つの要素のようです。日本では、20代女性の多くが30歳までに結婚の目処を立てたいと考え、また、同じアジアの中国や韓国においては、30歳未満の半数以上の女性が、ふさわしい結婚相手を見つけられるかどうか、年齢を重ねることへのプレッシャーに関係していると答えています。それとともに年齢への重圧を感じる要因について「自分自身の思考が影響している」とアジアの女性の約7割が回答。周囲からの直接的な言葉などに加え、自分へのセルフプレッシャーに苦しむ姿は、社会的な期待に必ずしも従う必要はないと知りつつも、その期待からなかなか逃れることのできない現代女性特有の葛藤を浮き彫りにしています。

今回のキャンペーン動画にはそんな全ての女性に、年齢を重ねることにプレッシャーを感じず、また決められた期限があるように感じたりすることなく、自分らしく輝いて運命を切り開いて欲しいという願いを込めています。



■「年齢って何だろう-期限なんてない-」様々なジャンルで活躍をする著名人もこのキャンペーンに賛同。女性にエールを送ります。

女性の生き方に関する意識調査*²では、30歳を過ぎた女性の約8割の方は、30歳という年齢に囚われる必要はなかったと回答しており、20代での不安は「考えすぎていた事もあった」と語っています。今回のキャンペーンでは、様々なジャンルで活躍をする荒川静香さん、安藤美冬さん、大宮エリーさん、はあちゆうさん、山田優さん、湯山玲子さん(50音順)とともにメッセージをSK-II公式ツイッターアカウント (@SKII_Japan) やご自身のアカウントにて発信しエールを送ります。（キャンペーン#tag #年齢って何だろう、#期限なんてない）

37年前のブランド誕生時から、女性たちが肌を変え、自信を持ち、運命を変える姿を見てきたSK-IIは、自分には決められた期限があるように感じ強いプレッシャーを抱えている女性を、「運命を変える力は、あなた自身の中にある。誰かに決められた期限なんてない。」というメッセージと共に、動画を通じて応援したいと考えています。

*1：2017年5月 日本、韓国、中国、香港、台湾、タイ、マレーシア、インドネシア、アメリカ、イギリス、オーストラリアの女性4280名、男性3261人に対して実施

*2：2017年5月 10代から50代の女性1400人に対して実施

<報道関係者のお問い合わせ先>

SK-II PR事務局 (株)プラップジャパン 滝田、岩坂、東出

TEL:03-4580-9106 FAX:03-4580-9132 MAIL:sk2_prap@ml.prap.co.jp

■ 動画「期限なんてない」内容

幼いころは気にすることのなかった「年齢」。東京、ソウル、上海で同じように生まれた彼女たちは、成長をするにつれ自分自身で人生を切り開き充実した生活を送る一方、だんだんと年齢を重ねることへの不安や、プレッシャーを抱え始めます。「30歳までに結婚に目処をたてたい。」「仕事でも30歳までに見通しがほしい。」「このままでいいのだろうか。」と焦りや重圧を感じ苦しむ女性たち。彼らがプレッシャーを感じるのには、家族からの期待、結婚を急がせる広告、そして友人のSNSの投稿など。しかし、これまで自ら決断し人生を切り開いてきた自分の姿を思い出した彼女たちは、世間の意見に惑わされず自分の意思で未来を決めていくことが大切だと気が付きます。「運命を変える力は、あなた自身の中にある。誰かに決められた期限なんてない。」笑顔を取り戻した彼女たちは、年齢を期限に感じることなく自分らしく輝き、自信を持って前に進んでいく決断をしました。



SNSでの友人の投稿などで



幼い頃は気にならなかった年齢



年齢に対して葛藤が募る



徐々に年齢が気になってくる



人生を謳歌してきた自分の姿を思い出す①



親からのプレッシャーや、



人生を謳歌してきた自分の姿を思い出す②



結婚を急げという広告



自信を持って前に進んでいく決断をする

■「年齢って何だろう - 期限なんてない」- 今回のキャンペーンに賛同する著名人の皆様からの、特に 20 代女性に向けた応援メッセージ

(50 音順)

荒川静香さん

「どのように過ごして年齢を重ねてきたかが、人生の中で次の世代における、自らの輝きに反映されるように思います。今までの積み重ねが 30 代の輝きに、そして 30 代の頑張りが 40 代の輝きに繋がっていくと思いますので、30 代の自分が輝けるように、お肌も内面も、自分にとって最高のケアをしていくことで、未来の自分へと繋がる毎日を過ごしていけたらいいですね。」



安藤美冬さん

「30 歳を迎える女性の前には、大きな可能性が広がっています。好きな仕事をしてもいいし、結婚して母になってもいいし、外国で勝負をしてもいい。30 歳で、女性はより自由になり、ここからどこへでも行けるのだとしたら、心の奥から情熱が湧き出てきませんか。今感じている不安を抱きしめて、かけがえのない 30 歳を迎えてください。」



大宮エリーさん

「30 代から、どうにでも自分次第で変容できる、変わるんです！それが面白い。不安だけれどその醍醐味を謳歌して欲しいですね。今、結婚がどうしても気になる人は、婚活に打ち込んでみるもよし、何に一番不安かを書き出して自分を把握する。それを原動力にしてドラマティックに生きてみるべし 30 代は面白いよ！エンジョイ！」



はあちゆうさん

「意志が運命になる世界へようこそ。実年齢より若いのか、上なのか、年相応なのか…他人の目ではなく自分の意志が見た目に出るスタートが 30 歳なのだと私は考えています。私自身がプレッシャーを感じていないと言ったら嘘になりますがきっとみんなが同じように抱えているプレッシャーを、自分なりの方法で突破することが、幸せを掴むことなのだと思います。」

プレッシャーを前に進む力に変えて、より良い「今」を更新するために、一緒に頑張りましょう！」



山田優さん

「30歳にさしかかった女性というのは、少なからず将来に不安を抱えやすいものではないでしょうか。かくいう私にも覚えがありますが、私の場合はまさにそんな時に旦那さんと出会えて、旦那さんの生き方を見られて、挑戦ってずっとできるんだなっていうことに気づきました。そうすると歳をとるのって怖くないんだなって心から思えたりします。いろいろあるのは人生だから当たり前。でもだからといって必要以上に怖がらなくていいんじゃないかと思います。怖がっていると見えるものも見えなくなるというか、自分から選択肢を勝手に狭めてしまったりとか。年齢相応の楽しみ方があるはず。私はそれを見つけようと日々生きています。」



湯山玲子さん

「不安なのは人間なら当たり前。30歳を迎える前にとにかく足を動かして、人に会い、外に出て、そして自分の中から「どうせ」という言葉を追放してください。「つまらないこと、不安なこと、苦手なことにあえて体験してみることは長い目で見て」超オススメです。なぜなら、私自身、苦手とか、自分が避けていたことに筋脈が眠っていたのだ、ということを実感しているからです。自分探しに熱中してしまうのはダメ。考えてばかりいると視野が狭まり、他人との比較が始まってしまいます。考えるよりまず「苦手に、行け」ですよ。この時期は、不安と苦勞の乗りこなし方を徹底的に学んでください。」



■SK-IIからのメッセージ

「SK-IIは、運命を変えることができると信じ、多くの女性たちが勇気を持って、運命を変えていくことを応援しています。2016年からは、この信念を「運命を、変えよう。#changedestiny」というキャンペーンテーマのもと展開してまいりました。昨年公開をした動画「婚活マーケットを乗っ取る」は、中国の女性達が直面する25歳までに結婚をしなければならないというプレッシャーや、「残りもの女性」と呼ばれることへの恐れを描き、世界中で話題となりました。この驚くべき現実を受け、SK-IIは女性が抱える年齢への不安は中国人女性だけのものではなく、全世界の女性に当てはまることだと考え、今回のキャンペーンを実施することを決めました。新キャンペーン動画「期限なんてない」では、SK-IIは動画を通じて「運命を変える力は、あなた自身の中にある。誰かに決められた期限なんてない。」というメッセージをお伝えしたいと思います。そしてこのメッセージについてアジア、さらには世界中の人々に考えていただきたいと思っております。」

(グローバル ブランドディレクター サンディーブ セス)

■SK-IIについて

1980年に日本で生まれた高級スキンケアブランド。現在日本を含む世界13の国と地域へ市場を広げ世界中の人々に愛され続けています。杜氏の手はなぜ美しいのか、という発想から「発酵」に着目して生まれた独自の整肌保湿成分ピテラ™※を全製品に配合。「透明感あふれる美しい肌づくり」をめざした研究開発により、年齢・肌質を問わず多くのお客様からの信頼によって支えられています。現在も売上げの一位を誇る基幹製品の化粧水「SK-II フェイシャル トリートメント エッセンス」から始まり、製品数は約50種に増え、世界で一番厳しい目を持つ日本市場において、トップクラスの高級スキンケアブランドへと成長。2017年、SK-IIはブランド誕生37年目を迎えました。

※ピテラ™：ガラクチミセス培養液（整肌保湿成分）